



注意 薬品の取扱いには、十分ご注意ください。

## 塩ビプレートの耐薬品性(1)

### ■タキロン塩ビプレートの耐薬品性

硬質塩化ビニルプレートは、耐食材料の中では、耐薬品性に優れた材料です。ほとんどの強酸、弱酸、アルカリ、塩類、動植物油に侵されません。しかし、ケトン類、エステル類、エーテル類、ベンゾイル系などの有機溶剤、炭化水素の塩化物などには侵され著しく膨潤を起し、引張強さなどの強度が短時間に低下したり、稀には溶解するので注

意を必要とします。ここに一般的な耐薬品性を記載しておりますが、この表は、静的使用での目安であり、負荷が掛かったり、混合薬品になると評価が大きく異なる場合がありますので、ご使用に際しては十分な注意が必要です。

<記号の説明>

Conc : 高濃度 sat : 飽和濃度 評価 ○:変化を受けない ○:若干変化を受けるが使用可能 △:使用には注意を要する ×:侵される

薬品名	濃度	一般プレート			耐熱用プレート			耐衝撃用プレート			PPプレート			
		20℃	40℃	60℃	20℃	60℃	80℃	20℃	40℃	60℃	20℃	60℃	80℃	
【ア】														
アセトアルデヒド	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×
アセトン	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	△
アニリン	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	△	×
亜硫酸(注1)	100%	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×
亜硫酸ガス	Conc	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
安息香酸	50%	○	○	△	○	○	×	○	○	△	×	×	×	×
アンモニアガス(乾)	Conc	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アンモニア水	sat	○	○	○	○	○	○	○	△	×	○	○	○	○
【イ】														
イソブチルアルコール	100%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イソプロピルアルコール	100%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【エ】														
エチルアルコール	100%	○	○	△	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
エチルベンゼン	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
エチレングリコール	100%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩化亜鉛	50%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩化アルミニウム	25%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩化アンモニウム	25%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩化カリウム	sat	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩化カルシウム	sat	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩化第一錫	25%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩化第二錫	50%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩化第一鉄	50%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩化第二鉄	50%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩化第一銅	sat	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩化第二銅	sat	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩化第二水銀	sat	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩化ナトリウム	sat	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩化ニッケル	50%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩化バリウム	sat	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(注1) 強い還元剤として働き、酸素、ハロゲン、過酸化水素などによって酸化されて硫酸になる。また、酸化剤としても働き、過剰の無機酸を加えると酸化力が強くなる。

## 塩ビプレートの耐薬品性(2)

<記号の説明>

Conc : 高濃度 sat : 飽和濃度 評価 ○:変化を受けない ○:若干変化を受けるが使用可能 △:使用には注意を要する ×:侵される

薬品名	濃度	一般プレート			耐熱用プレート			耐衝撃用プレート			PPプレート			
		20℃	40℃	60℃	20℃	60℃	80℃	20℃	40℃	60℃	20℃	60℃	80℃	
塩化マグネシウム	25%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩化メチル	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×
塩酸	10%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
//	36%	○	○	○	○	○	○	△	×	×	○	△	△	△
塩素ガス(乾)	10%	○	△	×	○	○	×	○	△	×	×	×	×	×
//	Conc	△	×	×	△	×	×	△	×	×	×	×	×	×
塩素ガス(湿)	1%	△	×	×	△	×	×	△	×	×	×	×	×	×
//	Conc	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
塩素酸カリウム(注2)	15%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩素酸カルシウム(注2)	sat	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩素酸ナトリウム(注2)	25%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【オ】														
オクタノール	100%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オレイン酸	100%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【カ】														
海水	-	○	○	△	○	△	○	○	○	△	○	○	○	○
過塩素酸(注3)	10%	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
過塩素酸(注3)	20%	○	○	○	○	○	×	○	△	×	○	×	×	×
過塩素酸カリウム	2%	○	○	△	○	△	×	○	△	×	○	○	○	○
過塩素酸ナトリウム	50%	○	○	△	○	△	×	○	△	×	○	○	○	○
過酸化水素	30%>	○	○	○	○	○	×	○	○	△	○	△	×	×
ガソリン	100%	○	△	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×
過マンガン酸カリウム(注4)	20%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【キ】														
ギ酸	50%>	○	○	○	○	○	×	○	△	△	○	○	○	○
//	>50%	○	○	×	○	△	×	×	×	×	○	×	×	×
キシレン	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
【ク】														
クエン酸	25%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
グリコール酸	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
グリセリン	100%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クレゾール	50%	○	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
クロルスルホン酸(注5)	100%	△	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×
クロルベンゼン	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
クロム酸(注6)	10%	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	○	×	×

(注2) 塩素酸塩は、中性、アルカリ性溶液では酸化作用がないが、酸性にすると強い酸化剤となる。塩酸を加えて加熱すると塩素、二酸化塩素を発生する。  
 (注3) 強い酸化力を持ち、塩素の酸素酸の中では最も強い酸である。希水溶液は安定であるが濃厚水溶液は吸湿性で空気中で発煙する。  
 (注4) 硫酸などの強酸との混合液は強い酸化作用があるので注意を要する。  
 (注5) クロル硫酸ともいい、水と激しく反応して硫酸と塩酸を生成する。即ち、硫酸と塩酸の混酸になる。また、濃硫酸によって塩酸と発煙硫酸を生成する。  
 (注6) 単体での侵食性は少ないが、硫酸、硝酸などの混酸になると侵食性が増す。



注意 薬品の取扱いには、十分ご注意ください。

## 塩ビプレートの耐薬品性(3)

<記号の説明>

Conc : 高濃度 sat : 飽和濃度 評価 ○:変化を受けない ○:若干変化を受けるが使用可能 △:使用には注意を要する ×:侵される

薬品名	濃度	一般プレート			耐熱用プレート			耐衝撃用プレート			PPプレート		
		20℃	40℃	60℃	20℃	60℃	80℃	20℃	40℃	60℃	20℃	60℃	80℃
クロム酸(注6)	50%	○	○	△	×	×	×	×	×	×	△	×	×
クロホルム	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×
[ケ]													
ケイフッ化水素酸	30%	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	△
ケロシン(灯油)	100%	○	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	×
[コ]													
コハク酸	-	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	○
[サ]													
酢酸	30%	◎	◎	○	◎	◎	△	◎	○	○	◎	◎	△
〃	60%	○	△	△	○	△	△	○	△	×	◎	○	△
〃	95%	△	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×
酢酸アミル	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
酢酸エチル	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	△	×
酢酸ブチル	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	△	×
三塩化アンチモン	75%	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○
[シ]													
次亜塩素酸カリウム(注7)	15%	○	△	△	○	×	×	○	△	×	◎	○	△
次亜塩素酸ナトリウム(注7)	5%	○	△	△	○	△	×	○	△	×	○	×	×
次亜塩素酸ナトリウム(注7)	15%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ジエチルエーテル	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
四塩化炭素	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ジグリコール酸	20%	◎	◎	○				◎	◎	○	◎	◎	
シクロヘキサノール	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	△	×
シクロヘキサノン	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ジメチルアミン	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ジメチルエーテル	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ジメチルホルムアミド	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×
重亜硫酸ナトリウム	sat	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○
臭化水素酸	40%	◎	◎	○	◎	○	○	△	×	×	◎	◎	○
重クロム酸カリウム(注8)	40%	◎	◎	○	◎	○	△	○	○	△	◎	◎	○
重クロム酸カリ混液	-	△	×	×	△	×	×	×	×	×			
重クロム酸ナトリウム	40%	◎	◎	○	◎	○	△	○	○	△	◎	○	×
シュウ酸	sat	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
臭素	Conc	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
重硫酸ナトリウム	sat	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○
酒石酸	50%	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○
硝酸(注9)	30%	◎	◎	○	◎	△	×	○	△	×	◎	△	×
〃	50%	◎	○	○	◎	△	×	△	×	×	△	×	×
〃	60%	◎	○	△	○	△	×	△			×		
〃	70%	◎	○	×	○	×		×					
硝酸銀	5%	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○			

(注6) 単体での侵食性は少ないが、硫酸、硝酸などとの混液になると侵食性が増す。  
 (注7) 次亜塩素酸塩の水溶液は強い酸化剤であり高温になると塩素酸塩を生じる。  
 (注8) 硫酸などの強酸との混合液は強い酸化作用があるので注意を要する。  
 (注9) 酸としての強さは塩酸より弱い、酸化力が強く、濃厚になるほど著しい。

## 塩ビプレートの耐薬品性(4)

<記号の説明>

Conc : 高濃度 sat : 飽和濃度 評価 ○:変化を受けない ○:若干変化を受けるが使用可能 △:使用には注意を要する ×:侵される

薬品名	濃度	一般プレート			耐熱用プレート			耐衝撃用プレート			PPプレート		
		20℃	40℃	60℃	20℃	60℃	80℃	20℃	40℃	60℃	20℃	60℃	80℃
硝酸ナトリウム	sat	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎
硝酸ニッケル	50%	○	○	○	○	△	×	○	○	○	◎	◎	◎
[ス]													
水酸化カリウム(注12)	5%	◎	◎	○	○	×	×	◎	◎	○	◎	○	△
水酸化カリウム(注12)	sat	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	○
水酸化カルシウム	sat	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	◎
水酸化ナトリウム(注12)	5%	◎	◎	○	○	×	×	◎	◎	○	◎	○	△
〃	15%	◎	◎	○	◎	×	×	◎	◎	○	◎	○	△
〃	30%	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	○	△
〃	50%	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	○	△
水酸化マグネシウム	sat	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	◎
水素	-	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	◎
[セ]													
青酸(シアン化水素)	100%	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	◎
[タ]													
炭酸	100%	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎
炭酸アンモニウム	sat	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○
炭酸ガス	-	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
炭酸カリウム	sat	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
炭酸水素ナトリウム	25%	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
炭酸ナトリウム	sat	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
タンニン酸	100%	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
[テ]													
テトラクロロエチレン	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×
テトラメチルアミン(トリアミン)	25%	△						×			△		◎
[ト]													
トリエタノールアミン	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
トリクロロエチレン	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×
トルエン	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×
[ニ]													
ニトロベンゼン	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
乳酸	50%	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
〃	75%	◎	○	△	◎	×	×	◎	○	×	◎	◎	◎
尿素	10%>	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
二硫化炭素	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
[ハ]													
発煙硝酸(注10)		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
発煙硫酸(注11)		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

(注10) 濃硝酸に二酸化窒素を吸収させたもので酸化力が極めて強い。  
 (注11) 97~98%の濃硫酸に多量の三酸化イオウを吸収させたもので酸化力が極めて強い。  
 (注12) 界面活性剤を含む溶液は、浸透性が増すため注意を要する。



注意 薬品の取扱いには、十分ご注意ください。

## 塩ビプレートの耐薬品性(5)

<記号の説明>

Conc: 高濃度 sat: 飽和濃度 評価 ○: 変化を受けない ○: 若干変化を受けるが使用可能 △: 使用には注意を要する ×: 侵される

薬品名	濃度	一般プレート			耐熱用プレート			耐衝撃用プレート			PPプレート		
		20℃	40℃	60℃	20℃	60℃	80℃	20℃	40℃	60℃	20℃	60℃	80℃
発煙硫酸ガス	Conc	△	△	×	△	△	×	△	×	×	×	×	×
[ヒ]													
ピクリン酸	5%	◎	○	○									
ヒ酸	30%>	◎	○	△	◎	×	×	○	○	×	◎	◎	△
〃	75%	○	△	×	◎	×	×	○	△	×	◎	○	×
ピリジン	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	○	×
[フ]													
ブチルアルコール	100%	◎	◎	○	◎	○	△	◎	◎	○	◎	◎	◎
フェニルヒドラジン	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
フェノール	sat	△	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×
フェロシアン化カリウム	30%	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ブタジエン	100%	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ブタン	Conc	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
フッ化水素酸(フッ酸)	10%	○	△	×	△	×	×	△	×	×	◎	◎	◎
〃	35%	△	×	×	△	×	×	△	×	×	◎	◎	△
〃	40%	△	×	×	△	×	×	△	×	×	◎	○	△
プロパン	Conc	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
[ヘ]													
ベンジン	100%	○	○	△	○	△		○	△		◎	×	×
ベンジンアルコール	100%	◎			◎			◎			◎	◎	
ベンジン-ベンゾール混合	20%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
ベンズアルデヒド	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
ベンゼン	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×
[ホ]													
ホウ酸	sat	◎	○	△	◎	△	×	○	○	△	◎	◎	◎
ホルマリン	36%	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	◎	○
[ム]													
無水酢酸	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
[メ]													
メチルアルコール	100%	◎	○	△	◎	△	×	◎	○	△	◎	◎	○
メチルエチルケトン	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
メチル硫酸塩	50%	◎	○	△	○	△		○	○	△	◎	○	×
メチレンクロライド	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
[モ]													
モノクロ酢酸	100%	◎	○	△	○	×	×	○	×	×	×	×	×
[ヨ]													
ヨウ化カリウム	sat	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎
ヨウ化ナトリウム	sat	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	○	△

## 塩ビプレートの耐薬品性(6)

<記号の説明>

Conc: 高濃度 sat: 飽和濃度 評価 ○: 変化を受けない ○: 若干変化を受けるが使用可能 △: 使用には注意を要する ×: 侵される

薬品名	濃度	一般プレート			耐熱用プレート			耐衝撃用プレート			PPプレート		
		20℃	40℃	60℃	20℃	60℃	80℃	20℃	40℃	60℃	20℃	60℃	80℃
[ラ]													
酪酸	20%	○	△	×	○	×	×	○	△	×	◎	◎	○
〃	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	△	×
[リ]													
硫化水素	Conc	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○
硫化ナトリウム	sat	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
硫酸	30%	◎	◎	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	◎	○
〃	80%	◎	◎	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	△	
〃 (注13)	95%	○	△	×	△	×	×	△	×	×	○	×	×
硫酸亜鉛	28%	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎			
硫酸アルミニウム	25%	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
硫酸アンモニウム	40%	◎	◎	△	◎	△		◎	○	△			
硫酸カドミウム	sat	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	◎			
硫酸-硝酸-水	10-20-70	◎	◎	○	◎	◎	○						
〃	15-20-65	◎	◎	○									
〃 (注14)	48-49-3	△	×		△								
〃	50-33-17	◎	○										
〃	50-50-0	△	×		△			×	×	×			
〃	57-28-15	◎	○		◎	○							
硫酸第一水銀	sat	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
硫酸第二水銀	sat	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
硫酸第一鉄	sat	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
硫酸第二鉄	sat	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○
硫酸銅	sat	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
硫酸ナトリウム	sat	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
硫酸ニッケル	sat	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○
硫酸マグネシウム	sat	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
リン酸	30%>	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○
〃	>30%	◎	○	○	◎	○	△	◎	○	○	○	○	△
リン酸アンモニウム	sat	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎
リン酸ナトリウム	sat	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	○

(注13) Conc、高温度になるほど酸化力が強くなる。

(注14) 硝酸の割合が増すほど、水の割合が減るほど酸化力が増す。